

添付（２）実務教育科目の授業計画（シラバス）

ファッション専門課程 ファッション研究科 2019年度(H31/R1)

区分	科目名	必修	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	教員			授業方法					評価の観点				場所								
								専任教員	非常勤講師	実務経験	講義	演習	実習	実技	試験	レポート	作品	出席状況	受講認定	校内	校外							
服飾造形	服装造形論Ⅲ	○	服装造形論	2年で習得した知識をもとに、オリジナリティとトレンドを意識したデザイン、テクニックの発想を追求する。自己の可能性を発見し創造性の領域を広げる。	通年	60	2	○		○	○						○		○		○							
	服装造形デザインⅢ	○	服装造形 デザイン	2年で習得した知識をもとに、皮革や毛皮の特殊素材に適したデザイン発想、商品企画から考え商品化を見据えたデザインを発想できる力を育成する。	通年	60	2	○		○									○	○		○						
	服装造形ソーイングⅢ	○	服装造形 ソーイング	2年で習得した知識、技術をもとに、応用デザインのスーツ製作、皮革、毛皮、カットソーの特殊素材を使用した作品製作を通して、デザイン別、素材別の縫製方法を習得させる。	通年	240	8	○		○		△								○	○	○	○					
	服装造形平面構成Ⅲ	○	服装造形 平面構成	2年で習得した知識、技術をもとに、さらに機能性や縫製を考慮した平面作図の方法、各種素材に対応した作図方法を習得させる。	通年	180	6	○		○										○			○					
	服装造形立体構成Ⅲ	○	服装造形 立体構成	トワル等を使用しプリーツスカート、ドレープのあるデザインの立体裁断など、シルエットの表現テクニックを習得させる。	通年	60	2	○		○		△									○	○		○				
	アパレル生産管理Ⅲ	○	生産企画	生産工場などの製品を所定の納期までに計画的に生産する流れを理解させる。	通年	10	1	○		○		△								○		○		○				
		○	生産管理	アパレル産業を把握し製品の品質・原価・納期に関する知識を高める。	通年	10		○		○											○		○		○			
		○	アパレル品質論・素材論	布地の持つ性質を理解し新素材の情報や産地について学ぶ。	通年	10		○		○	○										○		○		○			
	パターンメイキングⅢ	○	パターンメイキング	デザイン、素材に適したパターンメイキング（作図）方法を習得させる。	通年	60	2	○		○											○	○		○				
	アパレルパターンメイキングⅢ	○	工業パターンメイキング	工業ボディによるドレーピングや平面作図を縫製工場で使用する工業用パターンに展開する方法を習得させる。	通年	51	3	○		○											○	○		○				
		○	グレーディング	パターンをサイズ別に展開する技術や知識を実習を通して理解させる。	前期	18		○		○												○	○		○			
		○	CADパターンメイキング	パソコンにてCADソフトを使用し、パターンの入力、展開、縫い代付け等のCAD操作を習得させる。	前期	12		○		○	○											○		○		○		
		○	CADグレーディング	パソコンにてCADソフトを使用し、グレーディングから応用編のパターンアレンジまでのCAD操作を習得させる。	前期	6		○		○	○												○		○		○	
		○	CADマーキング	パソコンにてCADソフトを使用し、生地用尺を計算するマーキング操作を習得させる。	前期	3		○		○	○												○		○		○	

実務教育科目の合計 780